

自動交絡度測定装置（インターレース測定装置）

型式： R A P I D 4 0 0

RAPIDはRotating Automatic Pin Interlace Detector（回転式自動ピン式インターレース検出機）の略称です。従来のピン式インターレース測定機と違い、円筒状のリングに検知ピンが設置されていますので測定糸に設定荷重以上の張力を与える事なく、又、自動初荷重装置の採用により正確で迅速な測定が可能と成りました。測定原理と致しましては、自動初荷重装置により一定の張力が加えられた糸にピンを差し込み、ピンにかかる張力を検知し、糸のインターレース（交絡度）を測定します。走行する糸に繊維の絡みがあると、絡み部分が差し込んだピンに引っ掛かり、ピンにかかる応力が一定値を超えると絡みと認識され、交絡が計測され、同時に絡みの程度と間隔が自動的に測定されます。操作も非常に簡単で初荷重、交絡荷重、糸速度を装置に内蔵されているコンピューターに入力した後、サンプル糸を装置左横の給糸口に入れるだけで、糸は自動的にエアーにて吸引され、初荷重装置、検知ピン、交絡張力センサーを通り自動測定されます。又、測定中のデータは常に内蔵のモニター画面に表示され、試験終了後、各々データは演算処理の後、プリントアウトされます。尚、エアー式自動給糸口の採用により、サンプルが変わった時も面倒なガイドや検知ピンを通す事なく自動給糸口に糸を入れるだけで連続測定ができ、オペレーターによる人的ミスをなくし確実に迅速な測定が可能と成りました。又、自動初荷重装置により、試験ボビンの解舒張力等に影響される事なく常に一定張力で均一な試験状態にて検査測定する事が出来ます。標準装備のデータ処理装置は、最高100,000件のデータをストックでき又、200件の試験条件を記憶しますので条件の違った測定に非常に便利で有効であると考えます。

主仕様

測定方式： 自動回転ピン式検知方式
測定対象糸： 10～2500 Denier（11～2750 dtex）
交絡数測定範囲： 0.5～75/m（御希望により100/mも可能）
コントロール方式： コンピューター方式/モニター表示
交絡検知張力範囲： 0～150g/精度 ±0.1g
測定速度： Max. 25m/min.
測定時間： 約30秒/サンプル
給糸方式： 吸引式完全自動給糸方法
初荷重装置： 自動設定方式（サーボ方式）
データ処理内容： 交絡数/平均値、Min.、Max.、標準偏差等
交絡間隔/平均間隔、Min.、Max.、標準偏差等
荷重/初荷重、測定荷重平均値
その他/各測定項目グラフ化



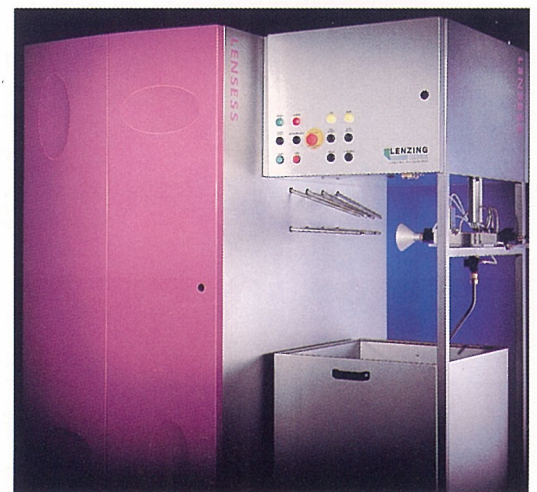
自動サンプリング・システム（自動糸切替え装置）

型式： L E N S E S S

LENSESSは、Lenzing Sequential End Sampling System（レンチング逐次糸切替え装置）の略称です。この装置は、サンプル糸を試験機に自動的に供給する省力化装置で、予めこのサンプリング装置に取り付けるだけで、後は完全自動方式でサンプル糸を設定した順序及びタイミングで試験機に供給する事が出来ます。従来のノット式自動糸切替え装置と違い、糸がエアーパイプの中を走り各試験に供給されますのでノットミスの心配もなく、糸のデニールが変わった場合でもノッターを使用していないので、1台の自動切替え装置で幅広いデニールに対応出来ます。又、クリール台車から直接サンプル糸を取り出し、この装置に取り付けますがクリール台車とLensesessの配置距離が非常に短い為、小さいスペースで十分であり、LENSESSと試験機の間にも糸の為の中間スタンドの必要がありません。Lensesessは、最高3台の試験機に自動給糸が可能であり、又、各々データは、Lensesessに集約する事も出来、工場内のネットワークコンピューターとも接続可能です。尚、Lensesessに糸を取り付けた後は、ボビンの外層の試験に適切でない糸を排除する目的で自動的に外層部を切断排除する機能があります。

主仕様

糸自動切替本数： 6～32（御指定下さい。）
糸供給速度： Max. 1100m/min.（一般衣料糸）
Max. 600m/min.（産業資材糸、BCF）
対象デニール： 25～3700 Denier（27～4100 dtex）
コントロール方式： コンピューター方式/モニター表示
給糸方式： 吸引式完全自動給糸方法



INTEC
International TECHnics

INTEC CO.,LTD. インテック株式会社

OKADA BLDG. 3F・4F・5F. 〒530-0047 大阪市北区西天満1丁目1-10
1-1-10, NISHITENMA, KITA-KU, (岡田ビル3・4・5階)
OSAKA, 530-0047, JAPAN.
TEL (06) 6364-5442 TEL (06) 6364-5444
FAX (06) 6364-5444 FAX (06) 6364-5444